

長浜市における「GIGAスクール構想」の取組

全ての子どもたちの可能性を引き出す 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現へ

GIGAスクール構想とは、文部科学省が発表した学校教育におけるICT環境整備についての構想で、児童生徒1人1台の学習用端末（ノートPCやタブレット）と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現していこうとするものです。

社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなり、さらに、今後、技術革新がますます加速する時代を生きていく子どもたちにとって、学習用端末は特別なものではない、学習に欠かせない「新しい文房具」となります。

長浜市では、これまでの教育実践とICTの活用を適切に組み合わせ、子どもたちの学び続けようとする意欲や豊かな創造性、様々な人と協働しながら問題発見・解決に挑む資質・能力を育んでいきます。

GIGAスクール構想で導入する学習用端末 「iPad（キーボード一体型ケース付）」



- ❖ 既存のコンピュータ教室の学習用端末と併せて活用します。
- ❖ 授業場面や内容、学年の段階等に応じて、日常的に端末を使って学ぶことができるようになります。
- ❖ 学校での活用が中心となりますが、非常時等、自宅でオンラインを活用した学習を実施する場合は、必要に応じて端末を持ち帰って活用します。

児童・生徒1人1台端末を活用した新たな学びの推進

◆一斉学習

教材や学習課題等の拡大提示による視覚的でわかりやすい説明により、子どもたちの理解を深めるとともに、子どもたち一人一人の反応を踏まえた双方向型の一斉授業を実現します。



◆個別最適な学び

インターネット・デジタル教材の活用による個々の興味・関心等に応じた探究的な学習活動や、教員が一人一人の学習履歴を把握することにより個々の理解や学習進度に応じた学びを実現します。

◆協働的な学び

一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有し、子ども同士による意見交換や発表等を通じて、思考力・判断力・表現力を育成します。また、多様な人々とのつながりを実現し、学びを深める遠隔授業にも取り組んでいきます。

グループで意見を整理し
プレゼンテーション



オンラインで
他校と交流



長浜市ではICT環境を活用し、児童生徒の「学びたい」「考えたい」を育む『子どもが主役』の授業を実践します